## 定期報告対象建築物の所有者・管理者の皆様へ

令和7年7月1日から告示改正に伴い 定期報告の調査(検査)が変わります!!



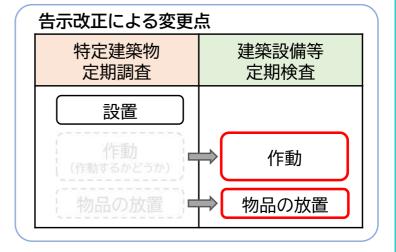
7月1日以降に調査された 場合、報告書の様式も変わ ります。ご注意ください。

ご不明な点は定期報告を依頼している調査者・検査者にご相談ください。

定期調査・検査項目の 重複の解消や合理化が 行われました

## ● 建築設備に関する検査の変更について

これまで特定建築物定期調査で実施していました 換気設備、排煙設備、 可動式防煙壁、非常用の照明装置 の「作動の状況」と「物品の放置の状況」は、建築設備定期検査で実施することになりました。



記号番号が「池学」「池館」「池共」「池共特」から始まる建築物は、建築設備等定期検査の対象外であるため、上記建築設備の報告は不要となりますが、快適で安全な建物の維持のために重要な項目ですので、定期的に点検を行い、常時適法な状態となるよう維持保全に努めてください。

## 「要是正」が多い項目

## 非常用照明装置のバッテリー切れ

蓄電池の交換目安は4~6年です。交換時期を迎えた蓄電池では、避難時に必要な点灯時間が得られません。適切な時期での交換をお願いします。



定期報告告示改正の詳細については、国土交通 省の資料をご確認ください。



【問合せ】池田市都市整備部審査指導課 (電話) 072-754-6339